【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和4年11月10日(2022.11.10)

【国際公開番号】WO2022/029891
【出願番号】特願2022-541378(P2022-541378)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ 13/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ 1/0007401Ｅ
Ｆ２４Ｆ 1/02 411Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月9日(2022.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本開示の空気調和機は、筐体の内部に設置された熱交換器と、前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、前記熱交換器の上方に配置された送風機と、前記筐体の内部の配線が接続される制御箱と、を備え、前記制御箱は、前記送風機及び前記熱交換器が配置されている風路において、前記熱交換器よりも下流であって前記送風機の水平方向に並べて配置されており、水平方向に動かせるスライド構造を備え、前記スライド構造は、前記筐体の梁に固定されたレールと、前記制御箱の底面に固定されたスライドレールと、を備え、前記スライドレールは、前記筐体の前後方向に沿って延び、水平方向に貫通する長孔が形成され、前記長孔は、前記レールに螺合して固定されたねじが挿通され、前記制御箱は、前記ねじを緩め前記筐体の前板を取り外した状態で前方向に水平に引き出し可能である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筐体の内部に設置された熱交換器と、
前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、
前記熱交換器の上方に配置された送風機と、
前記筐体の内部の配線が接続される制御箱と、を備え、
前記制御箱は、
前記送風機及び前記熱交換器が配置されている風路において、前記熱交換器よりも下流であって前記送風機の水平方向に並べて配置されており、水平方向に動かせるスライド構造を備え、
前記スライド構造は、
前記筐体の梁に固定されたレールと、
前記制御箱の底面に固定されたスライドレールと、を備え、
前記スライドレールは、
前記筐体の前後方向に沿って延び、水平方向に貫通する長孔が形成され、

前記長孔は、
前記レールに螺合して固定されたねじが挿通され、
前記制御箱は、
前記ねじを緩め前記筐体の前板を取り外した状態で前方向に水平に引き出し可能である、空気調和機。
【請求項２】
前記制御箱は、
内部に配置された基板を冷却するヒートシンクを備え、
前記ヒートシンクは、
前記制御箱の前記送風機と対向する面に設置されている、請求項１に記載の空気調和機。
【請求項３】
前記制御箱は、
前記筐体の前側の下部に着脱自在に固定された端子台取付部を備え、
前記端子台取付部は、
前記制御箱の内部に配置された基板に接続する配線が着脱自在に接続されている端子台が固定され、
前記端子台は、
前記制御箱の外部からの配線が接続されている、請求項１又は請求項２に記載の空気調和機。
【請求項４】
前記制御箱は、
前記端子台取付部と前記端子台取付部が固定されている制御箱本体との合わせ面に挟まれて配置されたシール材を備える、請求項３に記載の空気調和機。
【請求項５】
前記送風機は、
内部にファンが配置されるファンケーシングを備え、
前記ファンケーシングは、
前記筐体の前後方向に分割して取り外し自在である、請求項１～請求項４の何れか１項に記載の空気調和機。
【請求項６】
前記ドレンパンの下方に冷媒配管が引き回され、
前記冷媒配管は、
前記筐体の外部に配置された室外機からの配管と接続される、請求項１～請求項５の何れか１項に記載の空気調和機。
【請求項７】
前記送風機は、
モーターとファンとを備え、
前記モーターと前記ファンとが連結しており、
前記モーターは、
インバーター制御により駆動される、請求項１～請求項６の何れか１項に記載の空気調和機。
【請求項８】
前記制御箱は、
前記筐体の前方向に引き出された状態で前記ねじを締めることにより固定される、請求項１～請求項７の何れか１項に記載の空気調和機。